

## 平成22年度 第1回地域包括支援センター専門委員会 会議要旨

### 1 開催日時

平成22年7月21日(水) 18:30~20:00

### 2 開催場所

北九州市役所 91会議室

### 3 出席者等

#### (1) 委員

中村委員長、小川委員、今村委員、井出委員、  
河原委員、橋元委員、舟谷委員、渡邊委員  
欠席者 白木委員

#### (2) 事務局

いのちをつなぐネットワーク推進課長、清田係長、笹原

#### (3) 関係部局

介護保険課長、ほか

### 4 議事

- (1) 平成21年度 地域包括支援センターの運営状況について
- (2) 地域包括支援センターの成果と課題
- (3) 地域包括支援センター専門委員会年間計画について(案)

### 5 議事の概要

#### (1) 平成21年度 地域包括支援センターの運営状況について

平成21年度の地域包括支援センターの運営状況について、事務局より説明が行われた。

#### 【委員意見】

・平成21年度のセンターの相談件数が、前年に比べ減少しているものの、年間20万件を超えている状況から、開設より急増した相談件数が今後、横ばいか、微増するのではないか、と事務局より説明があった。だが市民のニーズが落ち着いたのかどうかも含め、地区の課題などを明らかにするためには、センターごとの個別評価が重要ではないか。

#### (2) 地域包括支援センターの成果と課題

これまでの地域包括支援センターの成果と課題について、事務局より説明が行われた。また、今後の方向性について議論が行われた。

#### 【委員意見】

・3職種が複数体制で配置されるのが望ましいのではないかと。センター数を減らし、1ヶ所あたりの人員をふやすことなども検討したほうがよい。

また困難事案に対応するためには、他分野（子ども、障害など）と連携ができる体制が良いと思う。

- ・職員を統括に集約し、市民のニーズに合わせ、統括から職員を派遣するというのも良いのではないか。
- ・センターの意義は3職種がチームで市民のニーズに対応するということだが、実態としては難しい状況にあるようだ。様々な市民のニーズや困難事例への対応状況などを把握するために、相談1件あたりの所要時間などのデータが必要だと思う。それを踏まえて、重点化というものを考えていくべきではないか。困難事例に対してきめ細やかに対応するのがセンターの本来の役割だと思っている。
- ・センターを集約するとなれば、地域に密着した相談機能をどう維持していくのか課題がある。
- ・センターの相談スペースがないという問題だが、今後も改善が必要ではないか。
- ・市民の安心を高めるために、センターはワンストップサービスを掲げてきた。そのためにはセンター職員が問題に対し、ある程度の決定権を持つべきではないか。
- ・現場の意見を聞くと、3職種の連携がうまくできていない状況があるとのことなので、問題をよく検討してほしい。
- ・今後の検討のためには、センター別に業務内容や相談対応時間、また問題点など、細かく洗い出すべきである。また21年度末の専門員会で挙げた、センターの抜本的な見直しについては、これらの資料に反映されていない。ソフト面、ハード面について見直しが必要ではないか。

### （3）地域包括支援センター専門委員会年間計画について（案）

今後の専門委員会のスケジュールについて、事務局より説明が行われた。